

吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館運営協議会議事録

日 時 平成28年2月25日（木）午後7時10分から午後8時20分まで
場 所 吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館 2階 会議室

1 協議会次第

(1) 開会

◆館長の挨拶

(2) 議事

1 5周年記念事業について

2 各委員会からの報告

3 その他

4 次回開催日程について

(3) 閉会

2 出席委員（14人）

若槻会長・上茶谷副会長・広瀬委員・渡邊委員・奥野委員
木村委員・白銀委員・中家委員・齋藤委員・山出委員
大原委員・中矢委員・宮委員・長島委員

3 事務局出席者（6人）

山本 智也 （子育て青少年拠点夢つながり未来館館長）
前田 隆男 （子育て青少年拠点夢つながり未来館副館長）
伊藤 尊之 （青少年活動サポートプラザ主査）
西佛 順慈 （青少年活動サポートプラザ主任）
谷口 恵子 （山田駅前図書館館長代理）
青柳 成和 （のびのび子育てプラザ主任）

4 議事録

(1) 開会

(事務局C)

本日は、お忙しい中お集まりいただきお礼申し上げます。

それでは、事務局A一言よろしく申し上げます。

(事務局A)

皆さんこんばんは。本日は5周年のことについて協議していただく予定です。ところで、一昨日内閣府子ども・若者支援地域協議会設置促進事業として、運営方法のスーパーバイズを行いました。子ども・若者の総合支援を国の制度として進めており、吹田市も協議会を立ち上げようとしているところです。夢つながり未来館の活動も子若法の枠組みとしっかりフィットしながら運営できたらと思っております。本日もよろしくお願いいたします。

(事務局C)

ありがとうございます。

それでは、会長議事進行よろしくお願いいたします。

(2) 議事

(会長)

それでは、委員の皆様よろしく申し上げます。まず議事に入ります前に資料の確認について事務局より申し上げます。

(事務局C)

資料の確認

①5周年記念事業について

(会長)

それでは、議事の方を進めてまいります。議事①の5周年記念事業についてですが、平成28年3月26日(土)に開催ということで詳細の方もだいぶ決まっていると思いますので、事務局から説明をお願いします。

(事務局D)

青少年活動サポートプラザの事務局Dと申します。よろしくお願いいたします。では、資料1開催要項に沿ってご説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

ゆいぴあは平成23年3月に開館いたしまして、今年の3月で5周年を迎えることとなり

ました。それを記念いたしまして、記念事業を行うものでございます。名称につきましては、吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館 開館 5 周年記念事業「みんなおいでよ！go☆周年」としておりまして、5 と go をかけている形になります。日時は 3 月 26 日（土）10 時から 15 時 30 分までを予定しております。会場につきましては、ゆいぴあで行います。内容につきましては 6 に記載しておりまして、裏面をご覧くださいと思います。

まず、1 階エントランスホールで、10 時からオープニングを開催させていただきます。ブラスバンドの演奏、市長、議長の挨拶、その後トークショーを 30 分行き、11 時までの予定となっております。その後 11 時から各フロアで催しを行っていく流れとなっております。

1 階のびのび子育てプラザでは、11 時から幼児向け遊びコーナーといたしまして、五縁遊びと手形・足型コーナーを開催させていただきます。また、エントランスホールにつきましては、13 時から青少年委員会のステージ企画 Whale フェスティバルを開催させていただく予定となっております。

続いて、各フロアの催しを順にご説明させていただきます。2 階は青少年相談事業で実施している事業の写真や利用している青少年の作品展示等を行います。3 階ではマミーティさんの抹茶・和菓子コーナーをしていただくのと、ハッピー&スマイルという障がい者の作業所でパンの販売をさせていただきます。また、青少年指導委員会によるフードコーナーも予定しております。それから、5 年間のあゆみも展示いたします。その下に記載しております、フラワーアレンジメントサークル、折り紙玉手箱、これらは普段からゆいぴあを利用いただいている団体様になりまして、作品展示や紙工作の体験等を行います。また、のびのび子育てプラザからの作品展示も予定しております。

次に 4 階の工作室ですが、11 時から山田駅前図書館によるプラ板工作を行いまして、その後 13 時 30 分から利用団体様のエンジェルママサークルによるフラワーアレンジメント体験を予定しております。次に 1 ページに戻っていただきまして、多目的会議室で 11 時からすいた子ども育成塾様によるおもちゃの工作体験を予定しております。

次に 5 階の多目的リハーサル室ですが、おはなし村様によるアフリカの民族体験を予定しております。その後 15 時よりグーチョコキパー様による人形劇を予定しております。

6 階多目的ホールでは、JAXA による宇宙科学教室（実験教室）を予定しております。

そのほかにもスタンプラリーを行いまして各フロアを回っていただきます。また各フロアで 5 周年のオブジェを作成し、3 月 26 日当日までに普段利用いただいている方にメッセージを書いていただいたり、笑顔を描いていただいたりなどして、当日展示する予定でございます。

運営協議会の皆様におかれましては、お時間ございましたらお立ち寄りいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

（会長）

ありがとうございます。只今、事務局の方から説明がありましたが、委員の皆様、ご意

見やご質問等はございますか。

チラシはどこに置かれているのでしょうか。

(事務局D)

チラシにつきましては、吹田市内の公共施設や小中学校、高等学校、大学等の教育機関、近隣の自治会にも回覧させていただきまして、周知を行っております。

(会長)

当日はプログラムを配られるのでしょうか。

(事務局D)

当日は内容をまとめさせていただきまして、どこで何をやっているかがわかりやすいチラシをご用意させていただこうと考えております。また、当日のチラシの中にスタンプラリーのスタンプを捺す場所を設けさせていただきまして、チラシをご覧いただきスタンプも捺していただきながら各フロアを回っていただければと考えております。

(会長)

わかりました。皆様いかがでしょうか。

(副会長)

このオープニングトークショーですが、元阪神タイガースの八木選手は、最近よくテレビにも出ておられますので、1階はそれほど広くないので、もしたくさん来られた場合には何か対策を考えておられますか。

(事務局D)

スタッフを配置させていただき、会場の整理など行う予定です。また、人が多すぎて入れない場合は入場制限をするなど臨機応変に対応させていただく予定にしております。

(副会長)

吹田も阪神タイガースファンが多いので、楽しみにしている人もいますので、危険がないか気になったものですから。

(事務局D)

わかりました。ありがとうございます。

(A委員)

4階で1時からエンジェルママサークルによるフラワーアレンジメント体験がありますが、申し込みはどのようにされるのでしょうか。

(事務局D)

フラワーアレンジメント体験につきましては市報に掲載させていただきまして、青少年活動サポートプラザで受付させていただいております。また、館内にチラシ等掲示させていただいて、利用者の方の目につくようにしたいと考えております。

(A委員)

わかりました。

(会長)

JAXA の分もなのですが、現在の申し込み具合はわかるのでしょうか。

(事務局D)

JAXA につきましては当初予定していた申し込み数に達しておらず、まだ空きがある状態でございます。今月末までを予定しておりますが、埋まらなければ 3 月以降も引き続き募集していこうと考えております。

(会長)

フラワーアレンジメント体験は大丈夫そうですか。

(事務局D)

定員が 8 名とかなり少ないのですが、まだ若干余裕がありますので、引き続き積極的に周知していきたいと考えております。

(会長)

わかりました。

(B委員)

JAXA のイベントには筑波から来られるのですか。

(事務局D)

実際に JAXA の職員が来られるわけではなく、JAXA が行っている地域貢献の一環でコズミック会議というものがございまして、全国各地で JAXA のイベントをされている方が

おられ、今回は神戸からお呼びして実施する流れとなっております。

(会長)

ありがとうございました。委員の皆様も広報をしていただけたらと思います。それでは、次の議題に進んでまいりたいと思います。

②各委員会からの報告・意見交換について

(会長)

それでは、議事②の「各委員会からの報告・意見交換について」ですが、各委員会より報告をお願いします。それでは、のびのび子育てプラザフロア委員会からお願いします。

(C委員)

では、報告させていただきます。資料2をご覧ください。

まず、平成27年12月7日に第5回フロア委員会を開催いたしました。主な討論内容を5に記載しておりますが、事務局からアンケート調査のご報告がありました。それに対し各委員から、せっかくだから来館者に周知したらどうかという提案をさせていただきました。のびのびだよりや子育てプラザの中で壁新聞を貼り出しておりますので、またご覧いただけたらと思います。アンケートの結果としましては、来館者の90%の方がのびのび子育てプラザについて満足しているということで、のびのび子育てプラザが皆さんのお役に立つ形で機能しているのだと思います。

二つ目としまして、地域の子育てサロン等で実際に活動しておられる委員の方から、警察による交通啓発講座を開催したところ非常に好評だったということで、のびのび子育てプラザでもそういった講座を開催してはどうかという提案がございまして、現在検討していただいているところでございます。

それから、ここには記載しておりませんが、今期最後のフロア委員会ということで、一年を振り返って各委員さんから意見や感想を述べていただきました。集約しますと、意見が出しやすい委員会であったということ、また些細なことから重要なことまで含めて事務局から非常にスムーズに回答が得られたため議論が前に進みやすかったということでした。それから、各委員さんが情報を持って来てくださるので、それを集約したり、館内だけでなく地域との繋がりが非常にうまくいっているということで、このフロア委員会に対して非常に有意義であったという感想をいただきました。次回は3月2日に新しい委員さんをお迎えし、平成28年第1回目の委員会を開催する予定となっております。

以上です。

(会長)

ありがとうございます。続きまして、山田駅前図書館フロア委員会からお願いします。

(A委員)

今回は第 5 期の新しいメンバーで開催いたしました。図書館でエアロビをしたというのが新鮮でよかった、体育館まではなかなか行かないけれども図書館でこういうことができるとよかったという意見が出ました。平日仕事をしている者にとっては夜間や土日がありがたいなと思うのですが、平日の午後が動きやすいという回答が多かったようです。読み聞かせについては、次この本を読んでくださいねという宿題を出すと、お子さんにもお母さんにもよかったようで、親子の触れ合いということも含めて図書館が本を通してできることが少し見えてきたかなというご報告もありました。それと、ビブリオバトルはけっこう内容はおもしろいのですが、参加者が少ないという課題があり、読書会にしたらよいのではないかとかももう少し違う工夫をした方がよいのではないかなという意見も出ました。また、前回の運営協議会の報告もしまして、昼間は高齢者の方がご利用されるというお話をしたら、委員さんのご主人も利用されているというお話が出ました。地域のいろいろな方にご利用いただける施設であるというのはとても良いことだと思います。それから、2月に図書館の自動貸し出し機等の新システムが入りまして、便利さや戸惑いなどいろいろ感じながらご利用いただいているかと思います。

以上です。

(会長)

ありがとうございます。それでは、青少年委員会からお願いします。

(D委員)

大きな行事としましては、12月25日に第6回 Whale フェスティバルを開催しました。今回はバンドが8組と新しく演劇が1組ありました。これについては新しく考えなければいけないことや話し合わなければいけないことがあり大変でしたが、委員一丸となって取り組むことができたかなと思います。実際に結構好評でよかったと思います。今回は年度が替わってから計画的に話し合いを進めてきましたので、余裕のある日程で準備を進めることができました。もう一つよかったのが、前日一日ホールをおさえることができたので、ゆっくり作業をすることができました。また、話し合いの時間が十分に取れていたのも、事前に決めていた役割を皆が担うことができたと思います。いつもより MC や誘導や照明の動きがスムーズでした。終わった後はいつもどおり出演者に協力していただいて皆で片づけを行いました。その中でも新しい繋がりができて、非常によかったと思います。全体を通して、青少年委員会としても新しい用途を取り入れ、成功したので、大変よかったと思います。

第7回 Whale フェスティバルについては、3月26日5周年イベントの中で行います。午後1時から3時半まで、1階エントランスホールで行います。内容は、ダンス、弾き語り、歌、漫才、その他諸々で、今募集をしておりますので、いろいろな団体が出てくれればい

いなあとと思います。その中で、一番最後に「ゆいぴあの歌」を披露するというイベントがあります。青少年委員皆で歌ったり、楽器を演奏するなどして披露します。それから、今回周知方法が違いまして、普段ゆいぴあを利用している人たちに出演してほしいなという願いを込めて、館外にはまったくチラシを配布していません。ですので、ここに愛着を持って活動している人たちがたくさん出演してくれればいいなと思っています。

以上です。

(E委員)

今回のテーマとして、いつもは高校生や大学生を Whale フェスティバルの対象としていますが、ここを利用されている一般団体の方にも出演していただけるような形をとりました。いろいろな団体の方に出演していただいて、高校生とコミュニケーションを取っていただける機会にもなればなと思います。また、ゆいぴあソングの中に振り付けがありまして、その中で手話を取り入れているのですが、今声をかけている出演団体さんの中に手話のできる方がいて、その方にも一緒に協力していただこうと思っています。皆で一緒に手話ダンスをして盛り上がりたいなと思っています。

(会長)

ありがとうございました。ただいま、各委員会から報告いただきました。委員の皆様、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。

(A委員)

先ほどの子育てフロア委員会の中で地域との関わりについておっしゃっていましたが、その地域とは全市なのか、この界限なのか、どちらなのでしょう。

(F委員)

民生の関係で出ておられる委員さんはこの界限で、津雲台や北山田になります。また、保育園の関係でいうと、公立の保育園の園長先生に順番に出ていただいたり、私立の保育園も連盟の方から推薦して出ていただいておりまして、来館者の方は来館者枠の方から普段利用されている方が3人と、館内に委員募集の貼り紙を見てやってみたいと名乗り出てくださったお母さんがお一人新しく入っていただく予定です。

来館者につきましては8割が千里ニュータウン、山田、千里丘からの利用者が多いのですが、少しずつ江坂界限からの利用者も増えてきているなと思っています。友達同士で誘い合って来られたり、旧市街からも来られたりされていて、嬉しく思っています。

(会長)

他にいかがでしょうか。

(副会長)

図書館でエアロビをされたということですが、他の図書館でもされているのでしょうか。

(A委員)

他の図書館でもされています。

(副会長)

よいことですね。

(A委員)

そうですね。

(G委員)

スポーツ推進室と連携して行っている事業になりまして、指導員の方に来ていただいて実施しています。他にも親子の体操や歩き方講座なども行っています。

(副会長)

10分でも15分でも身体を動かすと気持ちが晴れますよね。また次もされるのですか。

(G委員)

毎年行う予定です。

(副会長)

是非続けていただきたいと思います。

(H委員)

ビブリオバトルの参加者が少ないとのことでしたが、平均してどれくらいの発表者がいらっしゃるのでしょうか。

(G委員)

なかなか集まらない状況で、若い方に来ていただければと思っているのですが、観客者は年配の方が多くなっていて、ギャップがあり、今回発表者5人と観客は20人に満たなかったと思いますね。ちょっと残念だなと思いますので、工夫してもっとたくさんの人に参加していただければと思っています。

(H委員)

発表者が少ない理由は何かあるのでしょうか。

(G委員)

発表についてはチャンプ本を投票するということがあるので、ハードルが高いような気がするんです。ですから、読書会であれば、気軽に楽しく自分の好きな本について語り合うことができると思うのですが、ビブリオバトルとなるとちょっと二の足を踏むのかなと思います。先に読書会で慣れていただいて、それからビブリオバトルに出てもらった方がいいのかなと思ったりもしていて、今考えているところです。

(H委員)

段階を作るというのも一つですよ。

(G委員)

そうですね。

(H委員)

私も参加者としていきたいなあと思うのですが、仕事と重なっている日が多いので。

(G委員)

また是非よろしくお願いします。

(A委員)

今おっしゃったように、ビブリオバトルにいくまでの段階が必要なのかなと思います。

(会長)

発表者はどこ経由で来られるのですか。

(G委員)

YA サポーターとして中高生を募集しているのでそういった方に声をかけたり、後は近隣の高校に声をかけたりしています。今回は本当に少なかったもので、他の図書館の職員にも来てもらいました。

(会長)

高校生が参加してもいいのですか。

(G委員)

はい。中学生くらいから参加していただけます。

(B委員)

なかなか学校の行事と合わず、どうしても進めることができません。テスト前だったりもするので。

(A委員)

あと、照れくさいというのもありますからね。

(B委員)

実は、うちの学校で、終業式の後に文化部強制でそれぞれの活動の発表をしました。それぞれ普段はばらばらに活動していてそれなりに充実しているんだけど、他のクラブを覗くこともないし、広がることもないので強制的にやってみたら少しは刺激があったように思いました。何かを企画すると準備や練習などわずらわしいこともたくさんありますから、しんどいと言っている子もいましたけれども。広げるのであればある程度強制もありかなと。それによって、こういうものだったのかと、目からうろこの人がいるかもしれません。難しいですけどね。

(G委員)

そうですね。

(I委員)

学校対抗のビブリオバトルをやってみたらおもしろいのではないですか。

(G委員)

学校の中であればやりやすいと思うんですよ。文芸部に文化祭の時にステージで発表してもらおうとか。

(B委員)

文芸部は今二人しかいないんですよ。終業式の時の活動も、結局はしおりと自分たちが作った詩を置いておくだけでした。なかなか難しい。

(G委員)

千里図書館では、「時代小説を熱く語る会」というのがありまして、それは読書会なのですが、そういう催しをやっています。

(会長)

それだと集まっているのですか。

(G委員)

それほどは集まっていないようです。来られた方は盛り上がり熱く語られたということですが、人数は少なかったと聞いています。ただ、今後そういった形の会も検討したいと思います。

(D委員)

ビブリオバトルはこれまでに何回開催されたのでしょうか。

(G委員)

4回です。

(D委員)

行こうかなと思ったことは何回かあったのですが、そのテーマの本はあまり読んだことがないなということがありまして。ですから、何回か繰り返していれば当たるものもあると思いますし。

(G委員)

テーマは、夢、つながり、未来という、この建物に関するテーマを一つ一つ丁寧にしました。4年目になる今年は食べ物でした。

(会長)

その他いかがでしょうか。

(H委員)

一つご質問なのですが、子育てフロア委員会の警察による交通関係の啓発講座というのは、どのようなことをされているのでしょうか。

(F委員)

これは、山田の子育てサロンでされたとお聞きしたのですが、道路交通法が変わって自転車に関するルールも変わったということで、自転車のルールを知ってもらうことを中心にされたと聞いています。具体的なお話ですごく関心が高かったようです。

(H委員)

そこで何か親子の繋がりに結びつくようなことはできないのでしょうか。

(F委員)

うちの方でどのような形でやるのかについては、検討中です。よく保育園では、園庭に実際に信号機を持って来ていただいて歩くということをしたりするんですけども、この館内でどのようなことができるのか考えていきたいと思います。

(会長)

青少年委員会の次回の Whale フェスティバルですが、応募は何組くらいですか。

(事務局D)

事務局はサポートプラザで行っており、実際の申し込みは4件来ています。ただ、参加していただけると聞いている団体が他にもいくつかありますので、それを含めたらある程度の数は集まってきているのかなと思います。

(会長)

漫才なども書かれていますが、応募されているのはバンドの方ですか。

(事務局D)

今回、バンド自体は内容としては外しております。ダンスやアコースティックギターなどによる弾き語りも可能なのですが、1階のエントランスホールで開催させていただきますので、音量の関係でバンドは募集していない状況です。歌やダンスの応募がありまして、他に応募を検討していただいている団体様の中にはゴスペルやフラダンスなどがございまして、いつもとはちょっと違った雰囲気になるのかなと思います。

(I委員)

のびのび子育てプラザでアンケートを取られたということですが、サポートプラザでも去年の10月くらいから貸館を利用されている方には毎回利用されるごとにアンケートを取らせていただいております。その結果をサポートプラザの今後の運営に生かしていこうと考えております。その結果を利用者の方に周知していかなければと考えていたのですが、のびのび子育てプラザもされているということなので、今後サポートプラザでもしていきたいと思っています。図書館さんもされているのでしょうか。

(G委員)

もう少しでまとまったものが出る予定になっています。記述式のところで皆さんの思い

を書き添えていただき、各館で掲示することになっております。

(会長)

何か特別困った感じのご意見もありませんか。

(G委員)

というよりも、対応が良いといったお褒めの声をたくさんいただきました。ただ、貸出冊数や貸出期間についてご要望がありました。また古い施設ですと、もっときれいな図書館にしてほしいといったご要望もありました。

(会長)

ありがとうございました。それでは、次の議事に進んでまいります。

③その他について

(会長)

それでは、議事の③「その他」について、事務局の方から報告はありますか。

(事務局C)

本日お配りしておりますカラー刷りのチラシですが、選挙に関するチラシになりまして、今回より18歳からとなり、未来館は選挙の投票所にもなっておりますので、多くの青少年が利用されているので政治にも興味を持っていただき投票していただきたいと思ひまして、先行してしまうのですが本日チラシをお配りさせていただきました。

もう1点は、これまで青少年活動サポートプラザ、のびのび子育てプラザ、山田駅前図書館の3施設がございましたが、来年度から青少年活動サポートプラザにつきましては機構改革の関係で青少年室に組織が統一されることになりました。地域における青少年の健全育成の部分とこの館に来られている青少年支援の部分とを融合しまして、特色ある取り組みを進めさせていただきたいと考えております。この4月から組織名称が一つになってまいりまして、サポートプラザ自体は残っているのですが、中に勤務しております職員が青少年室の職員になるということです。従来させていただいている業務内容から変わるものではありませんが、現青少年室との連携がしやすくなるということになります。

(会長)

ありがとうございました。今のご説明について、何かご質問等はございますでしょうか。

(副会長)

今防災関係について世間ではいろいろ言われていますが、今日こちらの防災訓練があつ

たんですよ。何かトラブル等はございませんでしたか。時間帯は朝からでしたか。

(事務局B)

お昼からです。

(副会長)

3階はどのような様子でしたか。

(事務局B)

特に混乱はなかったです。防災訓練を行ったのですが、特にベルを鳴らしたりということではなくて、館内放送を入れて、全館の職員が合同で3階から出火したという想定で、非常階段を使わずに階段を使って避難しました。利用者の誘導を兼ねて、また重要な持ち出し物を持って避難しました。最後に2階で消火器の訓練もしました。この前実際に6階の火災報知機を子どもが悪戯して押したということがあり館内放送があったのですが、解除の方法を限られた者しか知らなかったということもありましたので、今度はその辺りを重点的にしなければいけないということで、次回は業者立ち合いの下でやる予定です。また、実際そのような事態になった場合、子どもたちがたくさんいたのですが、びっくりしていなかったんですよ。どうせ訓練だろうと。実際に火事が起こった時には素早い誘導が大事だという話もさせてもらったのですが、子どもたちが訓練だろうとってしまうことが怖いなあと思っています。突然起こることですので、逃げ遅れのないように日々注意が必要だと考えております。

(副会長)

前もって救護する方法も含めて、防災訓練は絶対やっておかなければならないと思います。頭ではわかっているけど実際にやってみて初めてわかることもありますし、地域でも最近やりましたが、やはり聞いているだけではだめです。ですから、年1回は計画的に実施していただいて、年間吹田市の人口以上の人が来館されているわけですから、万が一に備えてきちんとされている方が安心だと思いますので、是非お願いいたします。

(事務局B)

ありがとうございます。一応規模でいうと最低2回はしなければいけないことになっておりますので、毎回テーマを変えて、たまには抜き打ちでやってもいいのかなという気もしています。充実した内容にしていきたいと思っております。

(F委員)

子育てプラザでは毎月独自に避難訓練をさせてもらっているのですが、土日も含めて避

難警報を鳴らして、避難経路について来館者の方がわかるように裏口を通して出て行く訓練であったり、実際にAEDを使う訓練を職員の中でおこなったり、また不審者が来た時の訓練として、自動ドアの電源を切って鍵を閉めることなど、常にさせてもらっています。先日の誤報の時も6階で火事ですというアナウンスを聞いて、一旦外に避難していただきました。やはり、子どもさんもおられるので、状況がわからなくてもまずは避難した方がいいだろうということ。

(副会長)

1階だと何かあっても対応しやすいですね。それと、認知症の方もおられ、ここだと入りやすいですから、声かけ運動もやっていますが入ってこられることもあると思います。ですから、その辺りも少し気を付けてもらえたらと思います。

(会長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

(B委員)

先ほどの青少年室との統合についてのご報告についてですが、人数は減ったりしないのでしょうか。

(事務局C)

人数は特に減らずに組織が合体するというので、縮小されるわけではありません。

(会長)

選挙権についてなんですけれども、この館でもやろうと計画されているのでしょうか。

(事務局C)

実際に本日選挙管理委員会にお邪魔しまして、チラシを先に配ってもよいということでしたので配らせていただいたのですが、今後啓発が非常に重要な課題になってくるということで、何かしたいと。ただ、鳴かず飛ばずでは困るので、こちらで青少年委員さんの意見も聞きながら、たくさん人が集まる企画をしていきたいということですので、またアイデアがあればお聞かせいただければと思います。具体的には、選挙の投票箱を実際に持つてくるとか、模擬投票をすとか、そういったことを考えてもいいかなと言っていたのですが、それだけのために来る若者もいないと思いますので、プラスアルファ何かあればいいのかなと思っています。また何かあればご意見聞かせていただけたら、選挙管理委員会にお伝えしたいと思いますので、よろしくお願いたします。

(副会長)

学校では何か話題になっていますか。

(D委員)

大学なのであまり話題にはなっていません。

(B委員)

高校では、生徒会の前期の役員選挙は仕切りや投票箱を借りてきてやるということなんです。自主的に投票させるということで、終礼が終わってから投票させる形にしていますが、勝手に帰る子がどれくらいいるかなという心配をしています。学校ではそのようにいろいろと考えていて、社会科の授業で何回か啓蒙もしています。

(会長)

直接には18、19の子ですけれども、もっと小さい年齢の子たちにも触れてもらうことはできると思うので、両方考えてもらえたらと思います。

(事務局B)

実際に選挙権のある子どもだけじゃなくて、将来を踏まえて小さい時から啓発するということですね。

(事務局A)

私は京都の青少年活動推進協議会の会長をやっていますが、ユースアクションプランという若者政策の改訂をやった時に、主権者教育についてどうするかということについて2点ありました。一つは、住民登録を地元に残している学生は、地元でも居住実態がないので投票できない。ですから、住民登録を地元に残している学生は住民票を移してもらうということです。もう一つは、京都の青少年活動センターでは、京都で市長選があった時に各候補が若者に関する政策についてどのように考えているのかということを掲示したりしています。それは指定管理がやっているところなので、やりやすいのかもしれませんが、吹田市内の施設でそのようなことも考えられたらよりポジティブな主権者教育になるのかなと思います。前半の話につきましては、選挙管理委員会にお伝えください。

(会長)

ありがとうございました。それでは、最後になりますが、次回の開催日程について事務局よりお願いします。

④次回の開催日程について

(事務局C)

運営協議会は概ね3ヶ月に1回開催されておりますので、次回の開催は5月になってまいります。

次回の会議ですが、5月の第4週の25日(水)から27日(金)、30日(月)、31日(火)ぐらいで考えておりますが、いかがでしょうか。

多数決による希望日決定

(会長)

それでは、次回の会議は平成28年5月25日(水)で開催したいと思います。本日は以上になります。副会長、閉会の挨拶をお願いします。

(3) 閉会

(副会長)

今回も1時間ほどで終わりました。議事については問題なくスムーズに意見も出ましたし、よかったと思います。3月26日土曜日、5周年記念ということで、10時から行われるということですが、百聞は一見にしかずという事で、是非来てあげてほしいと思います。青少年委員会もがんばってくれていますので、是非お願いしたいと思います。

本日はどうもありがとうございました。